

ワサビ (実生・山降し)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
ハウス栽培(実生)	—		□										○△	—	◎	—
〃 (山おろし)	—		□		↑	—				↓◎	—		△	—		

ワサビ アブラナ科 原産地：日本

作物名 ワサビ

学名 *Eutrema wasabi* Maxim.

作型 ハウス栽培 (実生・山おろし)

山降しハウス栽培の育苗は、標高 500～800 m の林地内で 1 日に 2～3 時間の日照がある東向きの傾斜地が理想で、乾燥しないところを選ぶ。

4 施設装備

パイプハウス

技術体系

1 作型

秋に播種し、育苗したものをハウス内に定植し、2～4月に収穫するハウス栽培と、春まで育苗したものを3～4月に山上げ（標高 500 m 以上）し、林地内で育苗した苗（二年苗）を秋に山降しし、ハウス内で栽培して 1 月から収穫する山降し栽培がある。

2 適応地域

阿蘇、上益城、球磨地域の高冷地

3 栽培条件

冷涼な気候を好む半陰性のアブラナ科多年生植物で、生育適温は 8～20℃であり、暑さ（25℃以上）および寒さ（3℃以下）に弱い。

実生栽培はでは肥沃で透水性・保水性が良く西日の当たらない圃場を選び、山降し栽培では標高 500 m 以上で近くに林地がある場所を選ぶ。

ハウス栽培は、肥沃で保水性に富んだ排水のよい水田を選び、休耕地を利用する場合はアブラナ科作物との連作を避ける。

5 経営目標

(1) 収量 2.0 t / 10 a

(2) 経営規模 3～4 a

(家族労働力 2 人の場合)

栽培技術

1 播種～育苗

初秋に、水稻育苗箱に播種し、新聞紙で覆う。

発芽後は新聞紙を取り除き、子葉展開～本葉抽出期（播種後約 10 日）に 50 穴または 72 穴セルトレイに移植する。移植時の床土には通気保水性のよいものを使い、施肥量は、N、P₂O₅、K₂O とも各 100～150 mg/l 程度にする。

ハウス栽培での温度管理は、最高 25℃～最低 5℃の範囲で、換気保温する。

播種後 50 日前後で本葉 2～3 枚、草丈 7～8 cm 程度に育った苗が、定植または山上げ用の苗となる。

2 定植

(1) 栽植様式

定植は下表のようにし、浅植え（生長点を埋めない）とする。

	畦幅	条間	条植	株間	株/m ²
実生大苗	167cm	25cm	5条	15cm	20
実生小苗	〃	20	6条	〃	24
山おろし	〃	25	5条	18cm	16

(2) 施肥

施肥量

(kg/10a)

	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	備考
基肥	20	38	20	肥料は、有機質肥料とし 追肥は 2～3回に分けて分施
追肥	7	—	7	
全量	27	38	27	

堆肥 2 トン、苦土石灰 120 ～ 150kg を施用

3 山上げ・山降し

山上げする場合は、ハウスで育苗した草丈 15cm 以上、本葉 5 ～ 6 枚程度の苗を採苗し、3月下旬～4月上旬にかけて、夏越し出来る林地内へ移植する。

10 月に山おろしするときには無病の株を掘り取り、苗の大きさを 3 段階程度に分けて、新葉 2 ～ 3 枚をつけて 15 ～ 20cm 程度に葉柄部を切って定植する。このとき、根部を乾燥させると活着が遅れるので注意する。

4 管 理

気象災害、病害に注意し、必要に応じて日覆を行い、灌水、敷きワラ等も行う。

5 収穫・用途

収穫は、草丈 25 ～ 30cm 程度に伸びた頃行い、三杯酢で漬物等に加工される。